

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.409
2025.10.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制（ローテーション）**
生活者ネットワークの議員は、交代制。
議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。
議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。
お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。
みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

都政情報

■都議会第3回定例会：9月24日～10月9日。
決算特別委員会：10月中旬～11月下旬。各常任委員会
「事務事業説明・質疑」：10月中旬～11月下旬。

地域ネット

葛飾ネット

なんでも相談会（毎月10日）
10月10日（金）10:00～12:00 葛飾・生活者ネット事務所（京成高砂駅／葛飾区高砂8-21-1）暮らしのお困りごと、福祉や介護、医療のちょっと聞きたいこと。議会のことも 03-5876-4757

大田ネット

おしゃべりカフェ「高齢女性の貧困から考える」
10月14日（火）14:00～16:00 池上文化センター和室（東急池上線池上駅／東急バス上池上循環・池上文化センター）100円 03-6424-7561

東大和ネット

東大和・生活者ネット30周年記念「新しい自分に出会い、明日がもっと豊かになる表現ワークショップ」
10月19日（日）13:30～16:00 奈良橋市民センター集会所（西武拝島線東大和市駅よりバス奈良橋下車）講師：鈴木佳由さん（俳優・演劇集団「円」所属）1000円 042-567-1681

清瀬ネット

生活のお困りごと相談ください（毎月第3日曜日）
10月19日（日）14:00～16:00 清瀬・生活者ネット事務所（西武池袋線清瀬駅）家計相談員が対応 無料 秘密厳守 介護のご相談もどうぞ 042-494-8720

練馬ネット

「戦争はしない・原発はいらない」9条スタンディング（毎月9日）
11月9日（日）12:00～13:00 練馬駅南口（西武池袋線・都営大江戸線）03-3993-4899

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議38人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

NPO法人暮らしネット・えんの小島美里さんを講師に迎えた学習会「介護保険の危機」



在宅難病患者選抜訓練に参加する沼田たか子



私は訪問看護師の経験がありますが、看護にあたっていたときから住み慣れた地域で暮らすための課題として感じていたことは、医療的ケアや介護が大変な人ほど公的支援に頼ることができず、家族や本人がその困難を抱えこむしかないことでした。

医療的ケア／重度訪問介護が足りない

2024年、国の訪問介護報酬の引き下げが追い打ちをかけ、社会的介護の崩壊が危惧される事態となっています。命と暮らしを守り支える医療・介護・福祉の充実を実現にむけるために、医療的ケアを必要とする人や重度訪問介護が欠かせない人への支援の現場から報告します。

命と暮らしを支える医療・介護・福祉の充実を

実際の訪問していた中でALS（※）という病気がよって常時介護を必要とする人がケアを安心して社会に任せることができず、家族への負担を考え、生きることをあきらめた例を知っています。

在宅介護を支える訪問介護サービスを守ろう

医療的ケアや重度訪問介護を必要とするケースについて述べましたが、しかしながら、2024年の国の訪問介護報酬の引き下げにより、支援の充実どころか、それまで利用できて

いた訪問介護さえも受けられない事態が広がっています。在宅介護を支える訪問介護サービスの低下は、介護と子育てのダブルケア、老々介護、ヤングケアラー、介護離職などの問題を抱える家族や本人に影響します。

介護現場では介護を担う人の不足により、介護事業所が閉鎖に追い込まれたり、特別養護老人ホームが定員どおりに利用者を受け入れられない、さらには介護を受けたくてもケアマネジャーやヘルパーが見つからないといった事態も増えてきています。また、介護の仕事が好きで働いてきた若者が、やりがいを感じていても給与が少ないことを理由に結婚を機に、他の業種に転職するという事例も多く見られました。

可能な限り自宅に住み続けたと思う人が多くいる中で、在宅ケアの要である訪問介護を持続可能なものにしていくために、国に対し訪問介護報酬の引き上げを、自治体に対しては訪問介護事業所への直接支援を働きかけていきます。優先すべきは、私たちの生活・暮らしの安心であり、命を守ることです。そのためにケアをする人たちの経済的、社会的地位の向上を求めていきます。

※ALS（筋萎縮性側索硬化症）は筋肉を動かす神経の障害により筋力がなくなる病気



葛飾・生活者ネットワーク区議会議員 沼田たか子

文科大臣による、JSC秩父宮ラグビー場の財産処分認可は不当！都議会議員連が見直し・資料の公開を要請

8月7日阿部俊子文科大臣は、神宮外苑地区にある約4万1200㎡の土地と、ラグビー東の聖地、と称される秩父宮ラグビー場の独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）による財産処分申請を認可しました。

多くの市民や文化人、専門家の間でその問題性が大きく問われる最中、大規模な国民共有の財産である秩父宮ラグビー場の処分を認可したことに対し、東京・生活者ネットワーク都議会議員岩永やす代が役員を務める「神宮外苑再開発をとめ、自然と歴史・文化を守る東京都議会議員連盟」は強く抗議し、8月25日には認可の取り消しと、認可にかかわる資料等の公開を求め文科省大臣への要請行動を行いました。

●要望事項は以下2項

1. 秩父宮ラグビー場の財産処分等の認可を取り消すこと
2. 不動産鑑定資料を含む、認可に至った意思決定の全てを公開すること

そもそもJSCが行ったという不動産鑑定については、その判断経過や資料は明らかにされておらず、不当・不透明です。大臣が認可を下した以上、JSCが独立行政法人都市再生機構（UR）に行かせた不動産鑑定資料を含む、認可に至った意思決定過程の資料の全てを、広く公開すべきです。

先人たちが築き、100年の歳月を経た歴史と文化を誇る神宮外苑の都市計画区域を削り、三井不動産や伊藤忠商事に超高層ビルを建てられるよう特別の配慮を行う神宮外苑再開発計画は、歴史



文科省省前で、「神宮外苑再開発をとめ、自然と歴史・文化を守る東京都議会議員連盟」らが、抗議アピール。国会議員も多数参加。文科省担当者に要請を行なった。8月25日

と文化、東京都内に息づく貴重な自然を破壊する無謀極まる行為であり、のみならず、東京都及び国のまちづくりにおける在るべき民主主義をも破壊する暴挙です。

東京・生活者ネットワークは、「神宮外苑都議会議員連盟」はもとより、外苑の緑の存続を求め活動する大勢の市民・市民活動団体や専門家とともに、あくまでも再開発計画の見直しを求めて、「あきらめない」取り組みを進めます。



東京・生活者ネットHP
関連記事



岩永やす代
都政情報



岩永やす代都政フォーラム
都市計画から見る
「神宮外苑」再開発問題
2023/11/7



岩永やす代

東京・生活者ネットワーク都議会議員

Information

ねりま沖縄映画祭2025 わたしの沖縄 あなたの沖縄

10月11日、12日、13日、25日、26日、31日、11月2日、6日、23日、24日 ココネリ
研修室1ほか(練馬駅) 上映作品:「勝ちゃんー沖縄の戦後」ほか9作品 案内:https://x.gd/
gPC0G (1作品ごと) 前売券1000円/当日券1200円/18歳以下・ハンディのある方800円
予約:メール・FAX・Facebook・電話で メール:nerimaiegasai@yahoo.co.jp FAX:050-
6877-5315 電話・ショートメール:090-8311-6678 (柏木) ねりま沖縄映画祭実行委員会
/練馬文化の会

子どもを被ばくから守ろう!家族も、自分も! 第22回新宿デモ

11月8日(土) 13:00 ~アピール 14:00 ~デモ 新宿駅東口駅前広場 脱被ばく実現ネット
ト 090-8494-3856 (岡田)



「わくわく都民農園小金井」を市民とともに見学。9月13日

「わくわく都民農園小金井」は、武蔵小金井駅から徒歩5分という好立地にあつてなお、緑に囲まれた落ち着いた環境の中で多世代が農を通じて交流するコミュニティ農園です。東京都のモデル事業として、小金井市、小金井市観光まちおこし協会、生産緑地所有者が連携して2023年に誕生しました。

農園は「シニア農園」「子ども農園」「福祉農園」など目的別に区画が分かれており、農業未経験でも安心して参加できるしくみが整っています。講習や道具の貸出もあり、気軽に農に親しみ、学び・楽しむ場として、多世代交流を中心にした活動が広がっています。

敷地内の建物にはカフェや販売コーナーがあり、採れたての野菜や加工品も販売されるなど、地域に開かれた拠点となっています。月に一

2026年2月日野市議選にむけて

日野・生活者ネットワークは、来年2月15日投票の日野市議会議員選挙にむけて、現職(2期目)・白井菜穂子の擁立を決定しました。

白井なおこ しらい・なおこ

■1971年埼玉県生まれ、日野市で育つ ■日本女子大付属中・高卒 ■94年日本女子大学卒 ■舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる ■2012年大津市男女共同参画審議会公募委員 ■13年生活クラブ生協まち日野三沢コミュニティを立ち上げる ■同世代の母親たちと原発や憲法などの学習会、映画会を開催 ■14年東京都児童福祉審議会公募委員 ■18年日野市議会議員初当選 ■22年2期目当選。環境まちづくり委員会など



日野市議選
2026年2月8日
告示・15日投票

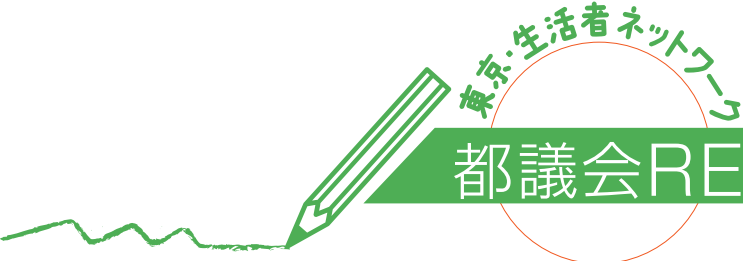


2026年2月町田市議選にむけて

町田・生活者ネットワークは、来年2月15日投票の町田市議会議員選挙にむけて、現職(1期目)・笹倉みどりの擁立を決定しました。

笹倉みどり ささくら・みどり

■1973年町田市生まれ ■町田第三中卒 ■都立町田高校卒 ■94年大妻女子大学短期大学部日本文学科卒 ■2006年~冒険遊び場スタッフとして活動 ■11~14年冒険遊び場運営団体理事 ■17~18年障がい福祉専門ヘルパーステーションに勤務、知的障がい者の移動支援に携わる ■18~21年子育て・教育関連書籍出版社に勤務 ■22年町田市議会議員初当選。文教社会委員会、健康福祉委員会(副委員長)など



都議会第3回定例会にむけて

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]



「わくわく都民農園小金井」は、武蔵小金井駅から徒歩5分という好立地にあつてなお、緑に囲まれた落ち着いた環境の中で多世代が農を通じて交流するコミュニティ農園です。東京都のモデル事業として、小金井市、小金井市観光まちおこし協会、生産緑地所有者が連携して2023年に誕生しました。

都市の農地を「コミュニティの拠点に

9月24日から改選後初めての定例会、都議会第3回定例会が開催されます。会派内で部会をつくり、各委員会に付託される議案や報告事項の共有・賛否の判断や代表質問案の作成など、協議を重ねています。

各団体から会派への2026年度予算要望ヒアリングが8月末から9月初旬にかけて続きました。要望書をもとに80近い団体各位からお話を伺い、現場の課題や暮らしの状況などを聞く中で、物価高騰や人手不足の課題が圧倒的に多く上げられました。早速、課題解決にむけるために、府中市にある小児総合医療センターと府中療育センターを視察しました。



市民団体からの予算要望ヒアリングで、様々な団体からお話を伺う。写真は東京高次脳機能障害協議会の皆さんと。9月4日

度、収穫された地場野菜を使った食の活動として「子ども食堂」が開かれたり、近隣の保育園がお散歩の際に立ち寄って種まきや水やり、収穫体験を行うなど、子どもたちの遊びや体験の場ともなつて

農地を借りて新規就農者が営農できるしくみはできましたが、相続が発生したら返還しなければならぬなど、長期的な運営計画を立てづらい状況もあります。食料自給率アップだけでなく、気候危機対策、食育、防災、コミュニティの創出など、多面的機能を持つ貴重な都市の農地を守るために、都が自治体への補助を行い農地を公有化する制度も始まっています。都市農業振興と農地の保全にむけ、自治体と連携した取り組みを進めていきます。

すべてのゲノム編集食品・作物の表示義務化を求め、意見書提出運動に取り組もう



立川・生活者ネットワーク市議会議員
あべみさ

「生命の設計図」ともいわれる遺伝子を人為的に改変して作り出した食べ物(食用の動植物)「ゲノム編集食品」について、生活クラブ生活協同組合は、その表示の義務化・制度化を求め、全国で意見書提出運動に取り組んでいます。その運動を広げるため、生活クラブ連合会主催の学習会が8月、オンライン併用で開かれ、東京・生活者ネットワークの各地域での、これまでの取り組みや議会対策などについて報告する機会を得ました。学習会には、全国で約100人が参加されました。

安全性が確立されないまま流通するゲノム編集食品

ゲノム編集食品は、安全性が十分に調べられていないと言えず、長い間食べ続けた場合の健康への影響も全く分かっていないにもかかわらず、業者にはゲノム編集食品であることを明示する義務がありません。消費者は、買う、買わない、食べる、食べないを選択することもできないのが現状で、食の安全・安心のためには表示の義務化が最低限必要です。

今回の運動は、全国の地方議会から国に意見書を提出することにより、表示義務化を国に求めるのが狙いです。現在は表示制度のある遺伝子組み換え食品ですが、当初は表示がなかったものの結果、国が方針を転換した経緯があります。ちなみに意見書は、地方議会が政府や国会に提出する要望等の文書で、地域・地方の声を国に届けるため法律上認められている制度です。

消費者の知る権利の確立を!

その意見書提出を実現するには、私たち市民が、意見書を出すよう求める陳情や請願を議会に提出し、それが賛成多数により採択される必要があります。そこで学習会では、2021年6月に「再生可能エネルギー電力の割合を高める2030年エネルギー基本計画の改定に関する陳情」を立川市議会に提出・採択された私自身の経験や、陳情を扱う議員としての経験から、どうしても多くの議員の賛同を得られるか、そのノウハウを中心にお話しました。各地で運動に取り組まれる皆さんの参考にしてもらえればと思っています。

食は生命の源。消費者の知る権利を確立するためにも、今回の消費者団体発「ゲノム編集食品・作物の表示義務化運動」に、ともに積極的に取り組みましょう。



「ゲノム編集食品」について、生活者ネットのこれまでの取り組みを報告。参加者からオンライン上で、質問や意見交換が活発に行われた。8月7日

都政
NOW
区市とつなぐ

編集後記 / 石破茂首相の辞任表明から、幾日かすぎたのだろうか。参院選の自民大幅議席減の、根本原因をつつた裏金工作事件=自民党の金権体質、まさに政治腐敗の元凶をつくったものたちが声を和して「石破おろし」というのだから、可笑しい。いずれやってくる「石破後」の、自民党の保守回帰は必定。であればこそ、野党第一党を担う政治家たちには、争うつづいて、理知の政治をみせてもらいたいのだ。(加藤)